

第6章

展望

ICP の 2017 年サイクルの結果発表の時期を迎えたが、世界は、新型コロナウイルスのパンデミックと闘う危機的状況にある。人命及び健康に関する大きなコストに加えて、世界中の国々が大規模な経済コストを抱えており、2020 年以降の世界経済の規模及び分布に影響を与えることになるだろう。このパンデミックへの対応は、今後 10 年間の、データや情報の収集、処理及び分析の方法を大きく変えることになるだろう。また、適時で信頼性の高い経済データは、政策立案者、経済学者、統計学者、データ科学者、及び広範囲な開発コミュニティが一体となってこの世界的危機の結果と余波を評価する上で、非常に重要かつ不可欠なものとなるだろう。

国際比較プログラム (ICP) は、2021 年のサイクルを開始するにあたり、この変化する世界に対応し、進化していくと思われる¹。このサイクルは、確立された ICP の方法論に従って実施されるが、2021 年の消費パターンを反映した品目リストの更新も組み込まれている。

ICP が参加経済の価格と支出を正確に反映し、高品質で適時な結果を出すためには、データの収集方法及び価格設定の項目の両方において、新しい技術の進歩を受け入れる必要がある。前者については、小売業者自身の記録から直接収集したスキャナーデータを使えば、店頭価格や正確なメタデータが得られる。さらに、価格を Web スクレイピングすることで、家電製品、衣料品、航空券、ホテル宿泊料、家賃項目など、価格が付きにくい品目や最新の消費者動向に関するデータを収集できる。アプリを介して価格データを提供するクラウドソーシングは、より詳細な価格データを収集することにつながり、中央以外の地方で販売する品目の価格付けを容易にする可能性がある。行政記録からのデータは、現在収集している政府被雇用者報酬データだけでなく、公共施設や公共交通機関の価格なども含めることができる。機械学習は、品目仕様や品目リストの分析、画像による品目の認識、分類、タグ付けなどに利用できる。

ICP が価格を出す商品やサービスのバスケットに関しては、プログラムは消費者の購買パターンの変化に迅速に対応し、これらが国民経済計算システムにどのように反映されるかを考慮する必要がある。E コマース及びオンラインマーケットプレイスは、地域、経済、又は地域に限定されない商品の取引を可能にし、これまでの商取引の地理的境界を破壊した。また、シェアリングエコノミーは、購買習慣及び消費者が利用できる財・サービスの選択肢にも影響を与えている。これらのチャンネルはいずれも規模が拡大しており、今後も消費者の選択肢を広げ、従来の交換や商取引のモデルに取って代わるものである。

さらに、常設 ICP が 3 年サイクルで実施されるようになると、その研究課題 (付属資料 G に記載) は、技術諮問グループの指導の下で進化を続け、当該プログラムが利用者のニーズ及び新たな 10 年間の課題を確実に満たすように進化していくだろう。

注：

1. 3年間のサイクル実施計画に従い、ICPのステークホルダーはICP 2020年サイクルの実施を計画した。しかし、多くの国では、2020年に新型コロナウイルス感染防止対策として、移動制限及びロックダウンがあり、現地での価格収集が中止された。こうした状況を考慮して、ICP管理理事会は2020年4月、ICP 2020年サイクルの代わりにICP 2021年サイクルを実施することを決定した。